

学校における熱中症対策

問 学校では新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、どのような熱中症対策を行うのか。

答 各学校では、空調設備の両立を図ります。また、マスク着用時にも、小まめに水分補給を行うとともに、登下校時や体育の授業などで、熱中症等が危惧される場合には、児童生徒の間隔を十分に確保した上でマスクの着用を求めないといった対策を行います。さらに、日頃の体温測定や健康観察により、引き続き健康管理を徹底していきます。

学習の遅れ

問 臨時休業措置による学習の遅れを取り戻すために、教員OBを活用してはどうか。

答 本県では、再任用教員、臨時的任用講師、非常勤講師として既に約750名を任用しています。今後は、臨時休業で生じた学習の遅れを取り戻すため、補充授業等を行う学習指導員等の配置を考えているところです。こうしたところにも、退職教員をはじめと多くの方々に協力をいただきながら、子供たちの学習を強力に支援していきたいと考えます。

県道白浜久木線の整備

問 整備の進捗状況と今後の取組についてはどうか。

答 白浜町庄川から久木間のうち通行不能区間約4.7キロメートルの解消を図るため、先に事業化した久木側は、久木トンネルが完了するなど、橋梁工事や工事用道路の整備を進めています。また、庄川側では、出合橋から山中橋までの間にいて、工事用車両の進入路を確保するための路側工事を進めています。現地の地形が急峻で、特に峠の前後区間では急勾配となることから、現道の利用は困難と判断し、新たにトンネルを含めたルートにより安全な走行が可能となるよう検討しており、今後、用地取得や工事を推進してまいります。



久木トンネル

緊急浚渫推進事業

問 令和元年台風第19号による災害を受けて、国が財政措置を行う事業に、県としてどのように取り組むのか。また、田辺市・西牟婁地方では、どのような箇所を対象とするのか。

答 現時点では、県管理53河川、二川ダム、18箇所もの砂防施設で事業を計画し、今年度は人家への影響が大きく土砂の堆積が著しい箇所から取り組んでおり、約10億円の事業執行を予定しています。なお、田辺市・西牟婁郡では、富田川などの8河川や大塔川の砂防堰堤を予定しています。

熊野川の濁水軽減対策

問 熊野川における濁水軽減対策の現状について伺う。

答 各機関において、発生源対策として崩壊地ののり面対策、河道への土砂流出防止対策及び河道内の堆積土砂の撤去を推進しています。また、ダム貯水池での対策として電源開発(株)が風屋ダム及び二津野ダムで濁水防止フェンスの設置等を行いました。なお、二津野ダムの排砂バイパスについては、貯水池への土砂堆積の抑制や、洪水後の濁水の downstream 早期排出のみならず、治水上の効果も期待できる構造にならないか同社に働きかけていきます。

切目王子の世界遺産追加登録

問 切目王子(印南町)の世界遺産追加登録について、知事の見解はどうか。

答 学術的にも大変価値のあるものと認識しており、まずは、世界遺産登録の前提となる国の史跡指定を目指し、熊野

参詣道の紀伊路のほか候補地とともに、史跡指定の後、機が熟せば、世界遺産の追加登録を目指します。



切目神社(切目王子)

歴史物語のアピール

問 本県の歴史物語をさらに深く追求し、県内外にアピールしてはどうか。

答 「わかやま歴史物語」の特別企画として、現在、古事記、日本書紀ゆかりの地を旅する「わかやま記紀の旅 周遊スタンプラリー」を実施しています。また、今後改訂を予定している「わかやま歴史物語」のストーリーの拡充を図り、知的好奇心を満たす和歌山の旅を県内外にアピールしていきたいと考えます。

田辺・西牟婁地域の県立高校の定員

問 昨年度の県立高校入試結果の総括と田辺・西牟婁地域の県立高校の定員について伺う。

答 昨年度の高校入試における全日課課程の本出願倍率は、0.90倍となりました。みなべ、田辺・西牟婁地域においては、志願者が定員を超過した学校があったものの、多くの生徒が行きたい学校に進学したものと考えています。令和3年度の県立高等学校募集定員については、地域の子供たちの人数や各学校・学科の特徴を踏まえ、10月末に総合的に判断します。

指定管理者制度

問 指定管理者制度について、指定管理期間を5年から3年に変更したのはなぜか。また、今後5年に見直す考えはないのか。

答 指定管理期間については、急速な時代の動きの中で、県民ニーズの変化に応じた業務の見直しを行うため、原則3年としてきたところです。現在は、維持管理が主たる業務となる施設は原則3年を維持する一方、創意工夫の余地が大きいソフト事業の業務割合が高く、指定管理者のノウハウ蓄積に時間を要する施設は例外的に5年としていますが、ご指摘を踏まえ、今後よく考えていきます。

指定管理者制度：民間事業者のノウハウ等を活用することにより、より効率的で効果的な管理運営を行い、住民サービスのさらなる向上と行政コストの削減を図ることを目的として、公の施設の管理運営を、地方自治体が指定した「指定管理者」が行う制度です。

農業後継者の育成

問 農業次世代人材投資事業における親元就農への支援と、後継者育成の今後の取組について県はどう考えているのか。

答 県では、農業次世代人材投資事業の要件を満たし資金の交付が受けられるようサポートしてきた結果、資金の交付を受けた方の約6割が、親元就農した農家の子弟となっています。今後、後継者育成のため、農林大学校等での人材養成をはじめ、経営力向上のための農業経営塾の開催に加え、所得向上を図るための生産・販売対策に取り組んでいきます。

高校入試の在り方

問 学習状況が各学校で異なることを踏まえ、高校入試

わかやま歴史物語：神話の時代から近代に至るまでの県内各地に点在する歴史、それにまつわる秘話、インスタ映えスポット、人・文化・食・温泉・体験など、和歌山をまるごと楽しめるストーリーを「100の旅モデル」として紹介しています。
<http://wakayama-rekishi100.jp/>